

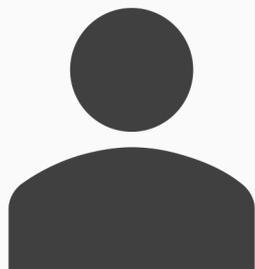
仕掛け②

地元チーム

(メンバー：山下・平山・五十嵐・古口・金子・吉田・川口)

移住者を支える 「社会的オヤ」

地元住民と移住者の 関係性に注目！



お母さん
みたい



息子の
よう



親分と子分によってなりたつ社会関係

「社会的オヤ」

の関係があることがわかった！

社会的オヤとは

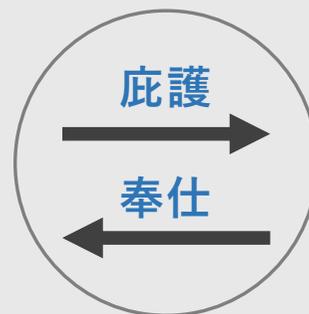
生みのオヤとは別に地域のルールや暮らしの作法を教えるなど地域で面倒をみてくれる存在

厳密には…

社会的に上位にある実力者（親分）と社会的に不安定な位置にいる者（子分）の二者間における庇護と奉仕の関係



親分



子分

(鳥越 1985)

象徴的な 2 組

- ① 草柳商店のあーちゃんと画家の山田さん
- ② 岩地区の竹林さんとロコラボの山下さん

① 草柳商店のあーちゃんと
画家の山田さん

移住してきたばかりで基盤がない

多くの場合は…

家については
不動産屋さん？

役場に相談
してみる？



移住者のみで解決していく

山田さんの場合

あーちゃんが
オヤのようにサポート

具体的には…

- ① 家探しのサポート
- ② 山田さんの奥さんへの仕事の紹介
- ③ 結婚の保証人（書類には草柳重成さんがサイン）

▶ 「社会的オヤ」の典型的な役割といえる！

一方…



山田さん

あーちゃんは真鶴のお母さん！

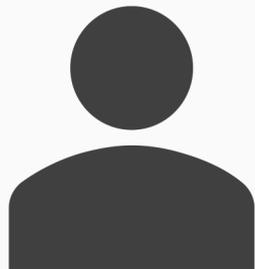
家族のような気遣い

- ① あーちゃんの仕事の手伝い
- ② あーちゃんの外出のサポート

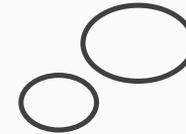
② 岩地区の竹林さんと
口コラボの山下さん

新規参入者が地域で事業を始める

多くの場合は…



新しい事業…
怪しいな



よそ者の
くせに…

出る杭打たれたり、浮いてしまったり…

山下さんの場合

竹林さんが応援

具体的には…

- ① 新規参入者が抱えがちなトラブルの解消
- ② 地元の業者や住民との橋渡し

▶ 「社会的オヤ」の役割といえる！

一方…



山下さん

竹林さんはオヤのような存在！

- ① 竹林さんの畑仕事の手伝い
- ② 竹林さんと地域の婦人たちの井戸端会議のためにスペースを開放

その結果…

事業を開始した当初
山下さんが地元住民に
挨拶しても、
そっけない態度を
とられることも…

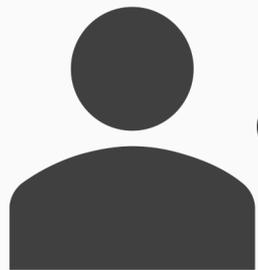
竹林さんを
介することで…



現在

関係性がガラッと
変わり、山下さんを
応援する住民が増えた！





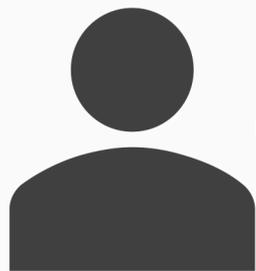
この関係はこの2組が
特別なの？

濃淡はあるものの
「社会的オヤ」と呼べる存在がいる
移住者は他にも！

例えば…

町役場の卜部直也さんにとっての
ミッキー（岩本幹彦）さん





移住者が増え始めたから
みられるようになった
新しい現象？

じつは

真鶴には歴史的に

「社会的オヤ」が根付いていた！

それが

「むら（村落）」の若者組にあたる

青年会の入会条件としての保証人

である！

青年会とは

「むら（村落）」のなかの「若者組」のこと（年齢階梯集団の一つ）

若者組＝道普請などの共同労働組織、祭祀組織、消防・防犯の組織



若者組はむらのまちづくりの担い手の中心

「むら（村落）」とは

行政村（市町村という基礎自治体）と違い、生活の単位としての自然発生的な組織

（鳥越 1985）

真鶴の青年会

厳しい掟が存在（連座制・禁酒・禁煙など）



「一致団結した模範的な統制ある団体」と評価される

（平井敏正 1978）

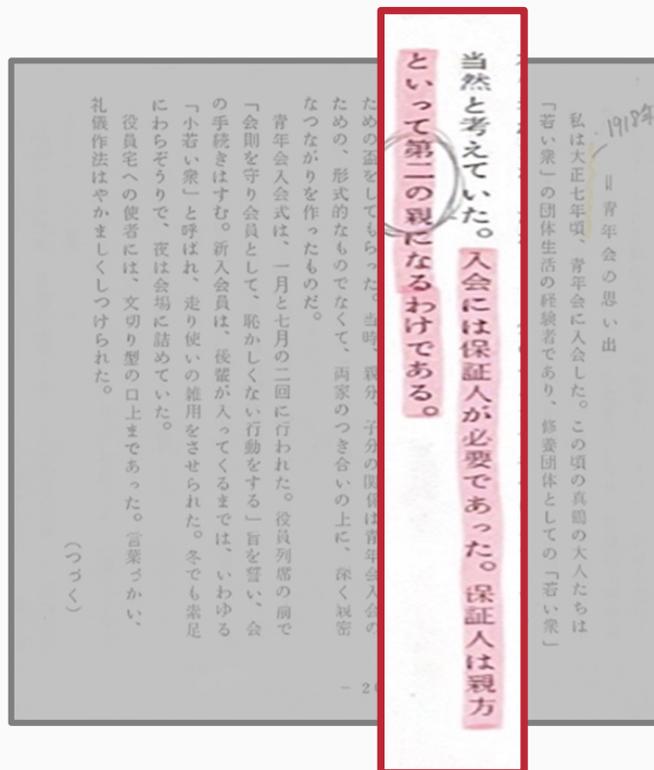
戦後に旧習とみなされ、1950年代に解散

（神奈川教育委員会編 2022）

青年会に入るには保証人が必要であった

保証人は親方といって
第二の親になるわけである。

(永野 1967)



近所の人に付き添われて親方の家に行き、
親子のための盃をしてもらった。
当時、親分・子分の関係は青年会入会のための、
形式的なものでなくて、**両家の付き合いの上に、
深く親密なつながりを作ったものだ。**

(永野 1967)

私は商家を親方におねがいましたので、縞の着物に生まれてはじめて角帯を締め、近所の人に付き添われて親方の家に行き、親子のための盃をしてもらった。当時、親分、子分の関係は青年会入会のための、形式的なものでなくて、両家のつき合いの上に、深く親密なつながりを作ったものだ。

1912年
青年会の思い出
私は大正七年頃、青年会に入会した。この頃の真鶴の大人たちは

なつながりを作ったものだ。

青年会入会式は、一月と七月の二回に行われた。役員列席の前で「会則を守り会員として、恥かしくない行動をする」旨を誓い、会の手続きはすむ。新入会員は、役盤が入ってくるまでは、いわゆる「小若い衆」と呼ばれ、走り使いの雑用をさせられた。冬でも素足にわらぞうりで、夜は会場に詰めていた。役員宅への使者には、文切り型の口上まであった。言葉づかい、礼儀作法はやかましくしつけられた。

(つづく)

家のつながりが弱まるなど、当時の「社会的オヤ」とはかたちが大きく変化

社会的に不安定な者の
面倒をみて、支える

**その機能は
共通している！**

当時の青年会の働きは、 現在の移住者の姿と重なる！

青年会

まちづくりの担い手

土木
などの
労働

祭りの
担い手



=

移住者

多様なまちづくり活動

空き家
活用

祭りの
担い手



真鶴という地域社会は

青年会の
若者

移住者

社会的に不安定な位置にある者を
「社会的オヤ」が支える歴史的性格を持っている！

移住者が地域に溶け込む社会的な仕掛けとはどのようなものか？

「社会的に不安定な位置にある者を「社会的オヤ」が支える」

というしくみが

移住者の増加など

潜在的にあり、

ある条件のもとで立ちあられる

という仕掛け

まとめ

移住者が地域に溶け込む社会的な仕掛けとはどのようなものか？

① 「人間関係」 紹介のまち歩き

② 移住者を支える 「社会的オヤ」

移住者が地域に溶け込む社会的な仕掛けとはどのようなものか？

「仕掛け」がない場合

まちに貢献
したい！



移住者

よそ者であるため

「出る杭は打たれる」状態や、
摩擦を引き起こす存在になってしまう…



移住者が地域に溶け込む社会的な仕掛けとはどのようなものか？

真鶴の場合（「仕掛け」がある）

まちに貢献
したい！



移住者

つながりの
豊かさ



社会的オヤの
支え・助け



安心して
活動できる



まちづくりの
担い手に！



文献

- 鳥越皓之(1985)『家と村の社会学』世界思想社
- 日本村落研究学会編(2007)『むらの社会を研究する』農山漁村文化協会
- 平井敏正(1978)「真鶴における『若い衆』」『真鶴』第17号、郷土を知る会
- 神奈川県教育委員会編(2022)『かながわの鹿島踊り〔吉浜の鹿島踊り〕』
- 永野与志(1967)「『若い衆』の思い出①」『真鶴』第1号、郷土を知る会
(『真鶴』復刻版所収)